

## 稲作担い手の類型化による地域区分と展開方向

中原秀人 (福岡県農業総合試験場)

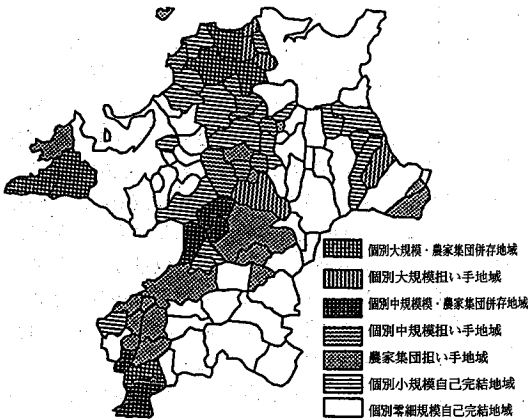
Hideto NAKAHARA : Types of Agricultural Region based on Classification of Main Rice Farmers and Trends

### 1. はじめに

1995年センサスによると稲の生産状況は、個別農家においては階層分化が急速に進んでいる。一方、集団組織においては、生産組織や農業サービス事業者の活動が増加している。しかし、階層分化や集団組織の活動状況は、市町村ごとに差がある。ここでは稲作の担い手を、個別農家の稲作規模と農家集団の活動状況から類型化し、県内97市町村の地域区分を行った。次に、稲作の担い手類型による地域区分で、基幹的担い手のいない地域に該当した市町村の、目標とする稲作担い手形態とその条件整備を明らかにした。

### 2. 稲作担い手の類型化と地域区分

初めに個別稲作農家の類型は、県内97市町村ごとの水稲作付規模別農家の作付面積比率によって4区分した。次に農家集団組織化類型は、農家・生産・土地利用の各組織化状況によって5区分した。稲作担い手の類型は、個別稲作農家類型と農家集団組織化類型のクロス集計によって7区分し、県内97市町村を地域区分した(第1図)。



第1図 稲作担い手類型による地域区分

### 3. 地域条件に応じた担い手の展開方向

稲作担い手類型によって個別小規模自己完結地域および個別零細規模自己完結地域に区分された56市町村は、基幹的担い手がいない地域とし、その他の41市町村は個別または農家集団による基幹的担い手がある地域とする。ここでは農業地域類型の中間農業地域(23市町村)を事例に検討した。

#### 1) 中間農業地域の類型区分

農業地域類型および稲作担い手類型の指標以外で、稲作生産に関連する指標を用いて主成分分析、クラスター分析を利用し、中間農業地域23市町村を区分した。その結果、中間農業地域はABCの3類型に区分できた。A類型は集約度が低く支援施設設備が遅れている地域、B類型は集約度が低く支援施設設備が進んでいる地域、C類型は集約度が高い地域である。

#### 2) 目標とする担い手形態と担い手育成の手段

指標間の相関分析から、稲作の基幹的担い手の存在には、土地利用調整が重要な要因であることが明らかになった。その他、基幹的担い手のいない市町村ごとの目標とする担い手形態と、担い手育成のための具体的条件は以下のとおりである(第1表)。

①クラスター分析でA類型の個別自己完結地域4町は、個別担い手農家への展開の可能性が高い。そのための条件整備としては、基盤整備の推進である。

②A類型の零細規模自己完結地域5市町村は、個別担い手農家への展開の可能性が高い。条件整備としては、基盤整備、農地流動化の推進である。

③B類型の零細規模自己完結地域2町村は、農家集団担い手地域への展開の可能性が高い。条件整備としては、経営の複合化の推進が必要である。

④C類型の零細規模自己完結地域4町は、個別・農家集団併存地域への展開の可能性が高い。条件整備としては、農地流動化の推進と共乾施設の整備である。

第1表 中間農業地域の稲作担い手類型とクラスター区分

稲作担い手類型	稲作の基幹的担い手のいる地域				稲作の基幹的担い手のいない地域	
	個別大規模・農家集団併存地域 2町	個別大規模担い手地域 1町	個別中規模担い手地域 3町	農家集団担い手地域 2村	個別小規模自己完結地域 4町	個別零細規模自己完結地域 11市町村
A		権田町	筑穂町、額田町、宮田町		勝山町、若宮町、築城町、庄内町	香春町、方城町、豊前市、那珂川町、犀川町
B				大平村		久山町、赤村
C	嘉穂町、二丈町			大島村		杷木町、浮羽町、立花町、黒木町